県政レポート No116

県政に活力！ 諫早に輝きを！

長崎県議会議員

やまぐち　はつみ

山口はつみ

発行責任者：山口　初實　　編集責任者：松永　碩哉
発 行 年 月：令和５年５月

春爛漫の季節を迎えて！

桜の花からツツジへと季節は移り春爛漫の躍動する陽気を迎えています。

皆様方におかれましては年度始めにあたり卒業、入学、進学、就職、転勤などのシーズンを迎え何かとご多忙な時をお過ごしのことと存じます。

私も県議会議員3期目の任期も４月末で終了しようとしているところです。

今期最後の定例議会は２月20日（月）～３月17日（金）迄の26日間の会期で開催しました。

令和５年度の一般会計当初予算7,515億円と令和４年度の２月補正予算（経済対策）４８１億円と合わせた7,996億円で令和５年度は、関連施策を一体的に推進することになりました。

また、令和５年度は本県の最重要課題である人口減少に対して、子どもたちへの投資を未来への投資と捉え子育てを中心とする「子ども政策」を県政の基軸と位置づけ、最重要テーマとして取り組みます。

そして、新しい長崎県づくりを推進するために、４つの重点テーマを設けています。

①前世代の豊かで安全・安心な暮らしの確保
②みんながチャレンジできる環境づくり～『みなチャレ長崎』の推進
③『長崎県版デジタル社会』の実現
④選ばれる長崎県のためのまちづくり、戦略的な情報発信・プランデイング

などです。

今期最後の定例議会ということで、会派の仲間の配慮を頂き、**２年ぶりに予算総括質疑に登壇**させていただきました。

更に議会最終日には定例の議長記者会見において、副議長会見を行いましたので、会見要旨をこのレポートに掲載させていただいています。

来期に臨むにあたり、統一地方選挙の長崎県議会議員選挙４期目に挑戦いたしましたが諫早市選挙区は２８年ぶり？の無投票となり４期目の当選をさせていただきました。

無投票での再選となりましたが、選挙になることを前提に告示日まで、後援会長、選対長、事務局をはじめ皆様の力強い取組、ご支援に心から厚く感謝いたします。

県民、市民の皆様の付託に応えられるように『県政に活力！諫早に輝きを！』のスローガンのもと誠心誠意努めてまいります。

皆様の更なるご指導を心からお願いし、今期最後の県政レポートといたします。

県議会議員４期目の当選

2月定例議会・観光生活建設常任委員会

◆予算総括質疑

◆記者会見

2月定例議会は2月20日～3月17日までの26日間で開催し予算議案（令和5年度当初予算　15件）、条例議案（13件）、事件議案（6件）、予算議案（令和4年度補正予算14件）、諮問（1件）を可決、承認、同意しました。

観光生活建設常任委員会及び分科会報告　質疑の概要

① 宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく調査費について

【質問】当該法が令和5年5月中に施行されることにより、新たに規制区域を設定し、県民の安全・安心な暮らしを確保するとのことだが、どのような設定と調査を行うのか。

【土木部】宅地造成など工事規制区域という市街地や集落地域と、特定盛土等規制区域という地形等の条件から盛土がなされると人家等に危険が及ぶ地域に規制を設けるため、基礎調査や既存盛土の安全性の調査を行う。

【質問】以前、他県で違法盛土の崩落による大きな人災が発生した。本県は土砂警戒区域が全国で２番目であり、地理的・物理的に急傾斜地が多いので、少しでも早く事業を進めていただきたいが、まず、基礎調査はいつまでに行うのか。

【土木部】令和５年度には基礎調査を行い、早急な設定を行いたい。また、区域設定後も許可やパトロール等の監視が必要であるため、土木部に「盛土対策室」を新たに設置し、県民の安全・安心な暮らしの確保に努めてまいりたい。

② 地域脱炭素に向けた重点対策加速化事業について

【質問】脱炭素社会の実現に向け、県有施設への太陽光発電設備の導入や公用車の電動化など行政自ら率先して取り組むとのことだが、今後、どのような導入計画を立てているのか。

【県民生活環境部】令和５年度から令和10年度までに、太陽光発電設備については、76施設へ導入予定であり、公用車の電動化については、太陽光発電設備を設置した県有施設に12台導入する計画としている。

【意見】国が2030年までに温室効果ガス排出量46%の削減を掲げる中、県内12の市町でCo_2排出量の実質ゼロを表明しており、是非県が率先して取り組み、市町や県民への展開につなげ、県内全体の脱炭素化の推進に寄与していただきたい。

活動スナップ

一般県道奥の平時津線開通式に出席

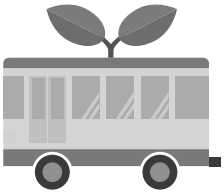
県立西陵高校卒業式に出席

教育委員会表彰式に出席

県議会議員緑化推進街頭活動

③ 電気バスの導入について

【質問】他県において、電気バスの導入があっていると聞くが、県として導入の検討を行っていないのか。



【交通局】車両導入にあたり、環境負荷の軽減は必要と考えている。電気バスについては、環境性能の向上や整備費用が大幅に削減される一方、車両価格が高い、走行距離が短い、また、保守整備体制の構築が必要という課題がある。先進事例や課題を精査し導入に向け検討してまいりたい。

④ 九州周遊バスについて

【質問】ＪＲ九州が行っていた、九州内を周遊できる切符のような取り組みを県でもできないか。

【交通局】周遊型乗車券『とりっぷきっぷ長崎･佐世保･ハウステンボス』を3月13日から発売としている。

この取り組みは、九州急行バス・西鉄バス・西肥バスと共同で発売し、それぞれの路線で購入すると7,340円かかるところを、5,500円とお得な価格設定とした。

福岡発着ではあるが、この取り組みを起爆剤とし、今後も他業者と連携して周遊乗車券に取り組んでまいりたい。

記者会見発言要旨

本年度最後の定例議会、2月議会終了後の議長記者会見時に副議長として下記のように発言いたしましたので報告いたします。

令和３年7月、副議長に就任以来、議長を補佐し、議会の円滑な運営のため、微力ではございましたが、誠心誠意努めてまいりました。

この間、特に長引く新型コロナウイルス感染症は、県民生活や事業活動に大きな影響を与えてきました。その対策に理事者と議会が一体となって取り組み、その中で、副議長としての役割を果たすことができたのではないかと考えております。

また、さきほど議長からもありましたように、長年の悲願でありました西九州新幹線が開業し、様々なプロジェクトの進展により、長崎のまちの佇まいが大きく変わろうとしております。

しかしながら本県には、人口流出などの重要な課題も山積しておりますので、引き続き県政の推進に努力してまいりたいと考えております。

最後になりますが、令和３年の7月就任以来、今日まで、副議長の重責を務めさせていただきましたことは、ひとえに皆様方の多大なるご支援、ご協力のたまものであり、衷心より感謝申し上げます。

本明川ダム付け替え道路開通式に出席

県警察学校入校式・祝辞を述べる

県、新規採用職員辞令交付式

令和5年度 当初予算

★一般会計予算総額　7,514億9,900万円
　○当初予算規模は、３年連続約7,５００億円を確保
　○予算総額は５年連続増
　○うち新型コロナウイルス感染症対策予算として440億円を計上
★令和４年度補正予算（経済対策）　481億5,300万円
☆令和５年度において関連施策を一体的に推進（使える予算総額）
　7,996億5,200万円（当初＋補正予算）

予算総括質疑に登壇

副議長を務めていることもあり、２年ぶりに登壇しましたので概略報告いたします。

◆県債について

【質問】長崎県の人口を約129万人とした場合に、一人当たり約96万円の債務がある。他県の県債と比較した場合に長崎県はどのように位置づけられるのか。

【総務部長】他県と比較可能な普通会計ベースで、臨時財政対策債の県債残高は32万5,000円ということで、多いほうから数えて全国20位、臨時財政対策債を除いた県債残高につきましては63万８,000円ということで、全国17位という状況でございます。

◆農産物の輸出拡大について

【質問】事業費は2,842万円を計上されている。重点国のプロモーションとしてシンガポールを重点国として記載されていますけれども、シンガポールを含めて近年の輸出品目と輸出額について、お尋ねします。

【農林部長】輸出拡大対策の結果、令和３年度の農産物輸出額は、目標の５,４億円を超える約６,２億円となっており、品目は、鶏卵、いちご、牛肉等を中心に輸出されている。

　主な輸出国は、輸出額の７割が香港であり、そのほかにシンガポールやアメリカがそれぞれ1割程度となっています。

◆新・鳥獣害に強い地域づくりについて

【質問】11億2,600万円を予算計上してあるが、ＩＣＴを活用した新技術の普及という項目で、捕獲アプリの実装などについて、お尋ねします。

**　スマートフオンを利用して捕獲実績の把握などが容易になるということであるが。具体的にはどうなっているのか。**

【農林部長】このシステムは、イノシシの捕獲者が現場でスマートフオンの捕獲アプリを用いて捕獲個体を撮影し、体重などの必要データを入力することで、その捕獲データがシステムに登録され、市町が入力した防護柵情報や農業被害情報とともに地図上で威厳的に見える化でき、イノシシの出没状況を確認しながら、箱わなや防護柵の設置を行うなど地域における事前の被害対策が可能となります。

コラム

統一地方選挙が終了した。

　各選挙区で激戦を勝ち抜いた新県議46名が葺本選挙管理委員長より当選証書を頂きこれから4年間の新たなスタート台に立った。

　現職35名、新人11名の新しい顔ぶれである。各選挙区の有権者の皆様の信任を頂いた各議員は、県民の皆様の付託に応える為にこれからしっかり取り組むことになります。

　私は人口減少対策をはじめとする、県政の課題及び地元諫早の諸課題に真正面から力一杯取り組む決意です。　県政に活力！　諫早に輝きを！

連絡先

山口はつみ事務所

〒859-0402　諫早市多良見町囲452-3
TEL･FAX　**0957-43-2800**
ホームページ　http://yamaguchi-hatumi.com
メールアドレス　hatumi@mrh.biglobe.ne.jp
https://www.facebook.com/hatsuml.yamaguchl

ホームページ
facebook